

# エコパーク通信

平成28年4月号

## マツバギク（ツルナ科 多年草）

黄



紫



白



橙



エコパークの一角に「インドネシアかつお一本釣り研修生」が作ったマツバギクの花壇があります。毎年増え続けて今年は、3か所で花を付けています。

私とインドネシアとの関わりは、7年前に「NPO手火山(てびやま)」の研修でエコクラブの会員4名と共にインドネシアに行ったことです。ピトン地区のかつおぶし工場やミナハサ県の水産関係の視察、港湾見学、市長さんとの面談、日本人墓地等の訪問をしました。ブナケン島チャチャでスノーケリング、花の街トモホンでラフティングに挑戦をしました。島民との交流、植物を見ながらウォーキングや満月の下でのディナーは味わい深いものでした。また、3泊したガーデンロッジでは「ヒスイカズラ」などの珍しい植物にたくさん出会い、ゆっくり庭造りを学ぶことが出来ました。

エコパークではシンガポール植物園を見た時の景観を活かした植栽、またリュウゼツランの移植を行いました。その他にもカブトムシ等の昆虫が来る段取りも心がけてきました。

子供たちにヨットやカヌーを指導してきた中で、私自身も奄美大島、屋久島、種子島、鹿児島等ヨットで回りながら楽しみました。こうした海に関係した経験をエコパークでも活かしていきたいと思えます。

松下 速雄

### クリスマスローズ



### オールアメリカン



### ヒバーナムティヌス



## 水仙（ヒガンバナ科 球根植物）



園内では、マツバギク・スイセン等の花が咲いています。これから暖かい日が続くと色とりどりの多種の花を見ることが出来ます。本格的な春ももうすぐですね。

ヤザキ 秋代

御前崎エコクラブ会長 山本貴美枝